

金沢市協働推進計画 2021（仮称）骨子案についての
パブリックコメントでのご意見と金沢市の考え方

- 1 募集期間：令和2年12月15日～令和3年1月15日
- 2 募集方法：メール、郵便、ファクシミリ又は直接担当課の窓口へ持参
- 3 意見：意見者数 11名 意見数 23件

NO	ご意見の概要	金沢市の考え方
1	【策定の背景と目的】に、外国人市民（中・長期滞在の外国人）の増加についても言及してはどうか。	本計画において、外国人市民の明記までは考えていませんが、外国人市民を含め「あらゆる市民」が当事者となる協働を推進してまいります。
2	【計画の目指す姿】の「あらゆる市民がつながるパートナーシップによるまちづくり」における新たな協働の担い手に、「事業者・学生等」だけではなく、「外国人市民」を明記してほしい。	
3	【基本方針Ⅰ・施策の方向性2】の「障害がある人や子育て中の人など、だれもが参加できる対話の場の提供」に外国人市民への言及も加えてはどうか。	
4	外国人市民の困りごとや日本語学習に関する支援・同じような状況にある人同士の仲間づくりのために、金沢市でも「多文化共生コーディネーター」を導入してはどうか。	ご意見については、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
5	【計画の目指す姿】の「多様な価値観を持つ人や組織が」の部分で、「多様な価値観や文化的背景を持つ人や組織が」にしてはどうか。	ご意見の趣旨を踏まえ、表現について検討します。
6	「みんなごと」や「世の中ごと」など、意味がはっきりしない単語は説明があった方がよい。	
7	【基本方針Ⅰ・施策の方向性1】の主な取組の1つ目に、「多様な媒体・手法・言語による、わかりやすく、参加しやすい情報の提供」というように、「言語」の視点を加えてはどうか。	
8	【基本方針Ⅰ・施策の方向性2】の「障害がある人や子育て中の人など、誰もが参加できる対話の場の提供」に、「多様な文化的背景を持つ人」を加えてはどうか。	
9	【基本方針Ⅰ・施策の方向性2】の「障害がある人や子育て中の人など、誰もが参加できる対話の場の提供」に、「外国人市民」を明記してほしい。	

9	基本方針の3つの柱が、単なる羅列ではなく1つのストーリーになっているところが良いと思う一方、目的や理念重視で、手段に関する記述が抜けている。	施策の取組内容については、計画で具体的に示したいと考えています。
10	職員のパートナーシップ研修について、特に力を入れて進めてほしい。	ご意見を参考に、様々な施策を研究・検討しながら推進してまいります。
11	対話での「技術的・財政的支援」として、通訳の派遣や翻訳機器の貸し出しなどを含めてほしい。	
12	「協働のまちづくりチャレンジ事業」だけでなく、市民や市民活動団体などが市に対して事業提案できる制度を作り、提案した事業への市の対応状況などがきちんと市民に分かるようにしてほしい。	
13	つながる場の提供の強化、多様な人・組織を支援する体制強化について、サポートの厚みを感じられる施策を期待する。	
14	話し合いの場の課題については、除雪計画やクリーンな環境づくりなど、生活に密着した話しやすいことから優先して設定するのがよい。	
15	年代・性別・生活環境に捉われず、誰もが自由に話し合える場を創ってほしい。スタートは小学校区で地域コミュニティの共通課題について議論し、ステップアップとして中学校区へと話し合いの場を進め、議題に応じて学生や市民活動団体などにも参加してもらいたい形がいいのでは。	
16	対話で進めていくという姿勢はいいが、対話によって生まれたことがどうなるかが分かるといい。	
17	“協働”でなく“パートナーシップ”という言葉が多く使われているところに、考え方の広がりや柔軟性を感じた。	
18	今まで参加してこなかった人を巻き込もうとするなど、より多様化が意識されている。	
19	図やレイアウトも工夫されていて見やすく、言葉がやわらかい表現でわかりやすい。	

20	具体的な表現となり、未来予想図が基本方針になった。かたくなるしい言葉が少なくなり、楽しいイメージに変わった。	あらゆる市民がつながるパートナーシップのまちづくりを目指し、金沢市協働推進計画2021において取り組みを進めていきたいと考えています。
21	誰もが参加できる「対話の場」は大切である。	
22	楽しい対話を通じて、ひとり一人のまちへの興味関心からみんなで実現可能な具体的行動に動き出させるよう、これからも仲間と活動していきたい。	
23	市民目線でやわらかく、わかりやすい言葉でまとめてある。市民が参加しやすそうであり、参加してもらえそう。	

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。